

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12053

婦人団体育成事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
中事業	婦人団体育成事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 生涯学習課 田村 匡崇 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	社会の変化に対応し活動することのできる女性団体を育成し、明るく住みよい社会の実現をめざして地域での活動を進める。		和歌山市婦人団体連絡協議会に、婦人団体育成事業を委託し、研修会や女性学級等様々な活動を通してリーダーを育成し、女性の資質や能力の向上に努める。		
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	和歌山市婦人団体連絡協議会に婦人団体育成事業を委託し、実施。 ・各種研修会の実施 ・婦人大会の開催 ・婦人総合体育大会の開催 ・地域別市民実践活動の実施 ・女性学級の実施等	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,090	2,090	2,065	2,065	1,915	1,915	1,843	0	1,843	0
伸び率(%)	0%	47.6%	△1.2%	△1.2%	△7.3%	△7.3%	△3.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,353	5,430	4,905	4,983	4,950	3,929	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5,353	5,430	4,905	4,983	4,950	3,929	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,090	2,090	2,065	2,065	1,915	1,915	1,843	0	1,843	0
所要人数(人)	正規職員	0.69	0.70	0.63	0.64	0.63	0.50	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	婦人団体育成事業委託料 2,065千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	研修会数	件	6	6	6	6	
			5	8	6		
			83.3%	133.3%	100%	%	
成果指標	研修会参加者数(会長・リーダー研修、県婦連研修)	人	300	300	300	300	
			143	182	145		
			47.7%	60.7%	48.3%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	様々な活動を通してリーダーを育成、女性の資質や能力の向上が見込める。
見直し・改善内容	若い世代を会員に取り込むため、会議・研修会等の開催日時を参加しやすい時間帯に改善する。